

●連載 No.12●

こうなる！ 小中一貫教育



【仮称：中央小学校建設現場の様子】



▲新校舎児童玄関の様子

▶新体育館の骨組み



▲左側…新体育館
中央奥…新校舎（北棟）
右側…現中央中学校舎
小中学校は、渡り廊下で
1・2階がつながります。

▶巨大クレーンを使った校舎建設



文教の里：多久「学校に行くなら多久 教育するなら多久」

平成25年度開校

「小中一貫校のスタート」に向けた取り組み

■問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-2227

小中一貫校先進校に学ぶ

全国的に小中一貫校の導入が広がる中で、すでに導入から数年が経過し、大きな成果を上げている県外の小中一貫校を視察したり、講師を招いての研修会を開催したりしながら、開校に向けた準備を進めています。

【研修会の中での講師の話】

○小学校のきめ細やかな指導から、中学校教員の中に「認める」というかわり方が入ってきている。

○中学校の生徒指導に対する迅速な対応や指導から、小学校教員の生徒指導のかわり方が変わってきた。

○異学年交流に参加・参観した保護者は、そのよさを大変感じている。 など

小中一貫校の先生からは、小学校教員・中学校教員・保護者にも、小中一貫校のよさが広がりつつあることが報告されました。多久市の小中一貫校では、3校共に小中合同の職員室を整備します。互いのよさ・特性を活かし合いながら、全教職員が、義務教育9年間の子どもたちの育ちを同じ教育方針で指導・支援していくこととなります。

多久市内学校『生徒指導』の充実

～全国的な「いじめ問題」報道の中で～

今、学校における「いじめ問題」が、連日のように報道されるなど、「いじめ問題」への対応の在り方について議論が広がっています。市内学校においては日頃から、次のような「生徒指導・いじめ問題」に取り組んでいます。

市内学校での「いじめ問題」への取り組み

- ① 定期的な「いじめ」に関するアンケートの実施
- ② 毎月定例の生徒指導関係の情報交換・協議会の開催
- ③ 子どもたちが自由に投函できる「心のポスト」の設置
- ④ 子どもたちがスクールカウンセラーに相談できる体制
- ⑤ さまざまな資料等を活用しての「いじめ等」研修会の実施

また、教職員の迅速な「報告・連絡・相談」体制を整備するとともに、「いじめ」、「仲間」、「正義」などを主題とした道徳授業（毎年「ふれあい道徳授業」と題して授業参観を実施）の実践など、計画的に進めています。

今後も、学校と教育委員会の連携強化の中で、早期発見、迅速・的確な対応、保護者連携、さらに関係機関とも連携を図りながら、市内学校から「いじめ」を出さないという強い決意を持って取り組んでいきます。

8月1日には、臨時教育委員会を開催し、「いじめ問題」についての共通理解と協議を行いました。



9月の定例教育委員会は20日(木)

時間 13時30分～

場所 市役所2階 第2委員会室（傍聴は自由です）

■問い合わせ

教育委員会 教育総務課 ☎75-34450